



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和7年4月18日(金)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

31

令和7年度 春季全但高等学校総合体育大会壮行会で、次の話をしました。

私のわずかな経験から一つ皆さんに伝えたい。試合当日、あるいは試合直前となると、誰でも自分のことでいっぱいになります。それは当然のことでしょう。しかし、事前の予想をくつがえすような見事な結果を手にする人やチームには、ひとつの特徴的な行動があります。それは「感謝」を行動に表している、ということです。

高校生活最後の但馬大会(県大会の予選)の朝、自宅を出発するまえに玄関の靴を並べ直す。会場のトイレを使ったら、終わったあとにスリッパをそっと並べる。会場に着いたとき、落ちていたゴミを拾う。そういう姿が、不思議ですが、実際にあるのです。

ゴミを拾う行動は、使わせてもらう場所にゴミが落ちている、と気づく力が行動となったものです。トイレのスリッパの乱れに気づく力が行動となったのです。同様に、挨拶は「あなたに気づいているのですよ」ということが、言葉になって表れたものです。

この、気づく力が、実はプレーの中できわめて重要です。相手の動きや仲間の動き、グラウンドの状態やボールの状態に、気づくことによって、雰囲気飲み込まれることなくプレーに集中できる。自分の持っている力がしっかり発揮できるのです。そしてさらには、見えないものにまで気づくことができる。

感謝の気持ちや、気づく心が、行動となって現れたとき、結果がついてきます。奇跡も起こります。どうぞ最後まで感謝の気持ちを忘れずに!!